

## 骨粗鬆症性椎体骨折の臨床的・画像的特徴の評価

### 1. 研究の対象

2015年から2021年に当院整形外科で脊椎圧迫骨折パスにて入院加療した患者さん

### 2. 研究目的・方法

骨粗鬆症性椎体骨折(脊椎圧迫骨折)は、骨粗鬆症になり骨が弱くなると生じやすくなるせぼねの骨折です。もともとの骨の弱さや栄養状態、骨折の仕方など様々な要因が治療や経過に関連していると考えられています。

今回の研究で対象の骨粗鬆症性椎体骨折の患者さんの過去の電子カルテのデータ（画像、血液検査など）を解析することより、骨粗鬆症性椎体骨折の病状をより深く把握でき、今後の診療に役立てることができると考えています。

研究期間は病院長承認日から2024年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ：患者背景（年齢・性別・受傷前ADL）、受傷機転、画像所見（骨折椎体レベル・他のレベルでの陳旧性椎体骨折の有無・MRI分類）、骨粗鬆症関連骨折既往と治療歴、血液検査を用いた予後推定栄養指数（PNI：prognostic nutritional index）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 0538-38-5000

磐田市立総合病院 整形外科 安田 達也

研究責任者：

磐田市立総合病院 整形外科 安田 達也